



# はーとふる志賀

いよいよ3月も半ばとなり、今年度の終わりを感じさせます。6年生は17日（金）に卒業式を控え、立派な姿を見せるために日々練習を重ねています。1～5年生は、次の学年に向けて着々と準備を進めているところです。先月行われた卒業を祝う会のテーマは『ふみ出せ！未来への新しいステージへ』でした。本校の児童が、それぞれの新しい未来へ、自分へとステップアップできるように、職員一同は引き続き指導・支援していきます。

さて、12月の「はーとふる志賀」で、1学期に実施した道徳アンケートの結果を載せました。今回は、3月に行った同様のアンケート結果から前回との比較・考察をしてみました。

**【アンケート結果より】**

5, 5, 4, 4, 3, 3, 2, 2, 1, 1, 1, 1



	低学年 「節度、節制」	中学年 「親切、思いやり」	高学年 「勤労、公共の精神」
1	きまりを守って生活している (68.6%)→ <b>(89.8%)</b>	学校で、いろいろな人とかかわることができている。 (87.4%)→ <b>(92.3%)</b>	日ごろから「働くこと」の意味を考えながら授業や活動に取り組んでいる。 (66.5%)→ <b>(74.5%)</b>
2	ものを大切にしている。 (82.4%)→ <b>(94.3%)</b>	相手の気持ちを考えて行動できている。 (79.4%)→ <b>(92.3%)</b>	<b>みんなで協力して仕事をしたり、行事をやりとげたりして、うれしく感じたことがある。 (90.2%)→(88.5%)</b>
3	みのまわりをきれいにできている。 (68.6%)→ <b>(83%)</b>	考えたことやかんじたことが友達とちがっても、たすけ合うことができている。 (80%)→ <b>(83.8%)</b>	自分の働きで、まわりや社会の助けになったと実感したことがある。 (65.5%)→ <b>(69.8%)</b>
4	じかんをまもってこうどうしている。 (73.5%)→ <b>(86.3%)</b>	だれかがこまっている時に、自分もいっしょに考えてあげることができている。 (80.6%)→ <b>(88.5%)</b>	ボランティア活動やあいさつ運動などの、ほうし活動（お金や見返りを求めない活動）を経験して「何が大切か」を考えたことがある。 (61.9%)→ <b>(70.8%)</b>
5	じぶんのことはじぶんでできている。 (75.5%)→ <b>(81.9%)</b>	相手のことを考えて親切（人のためを思って何かをしてあげること）にすることができている。 (81.1%)→ <b>(89.2%)</b>	人からたのまれなくても、進んで仕事を見つけて人のために動くことができている。 (71.6%)→ <b>(74%)</b>
6		自分は学校で「協調」できている。 (80.6%)→ <b>(90.8%)</b>	今の時点で自分は学校・地域・社会に「貢献」している。 (63.4%)→ <b>(64.1%)</b>

（ ）内は、4, 5(肯定的回答)の割合です。網掛けは、肯定的回答が5ポイント以上増えた質問項目です。

今年度、本校が掲げる重点的な道徳教育の内容に関係する質問について、ほぼ全ての回答で肯定的回答が増えました。児童の心の成長が感じられますね。

一方、高学年の「みんなで協力して仕事をしたり、行事をやりとげたりして、うれしく感じたことがある。」では肯定的回答が若干減っています。これは事実として、年度末になっても達成感や充実感を十分に感じられていない児童がいることを意味しています。これ以外の質問についても、やはり否定的回答があることが分かります。

この結果を受け止め、児童全体の活動の充実に繋がるような声掛け、指導の方法について職員一同が振り返り、次年度以降の教育活動に引き継ぎたいと思います。

**【保護者の皆様へ】**

今年度も、本校の道徳教育にご協力をいただき、誠にありがとうございました。これからも本校では、児童が健やかに心の成長を感じられるように教育活動を行っていきます。今年度の「はーとふる志賀」の発行はこれで最後となりますが、ご家庭と学校で一つとなって道徳教育が進められるよう、次年度以降もよろしくお願いいたします。

## 【2月の詩「青空色のハンカチ」】

本校の2月の生活目標は「感謝の気持ちを表そう」でした。卒業シーズンの3学期でもあります。そこで今月は「感謝」をテーマに、高木あきこさんの「青空色のハンカチ」（元気がでる詩 5年生 理論社より）を読んで、「今、感謝の気持ちを伝えたい人とその理由」を募集しましたので、いくつか紹介します。

青空色のハンカチ あおぞらいろ たかぎ

きみがくれた 青空色のハンカチ

ぼくは いつも ポケットに入れてい  
いやなことがあったときは

そのハンカチをにぎりしめる

心が重くかたまりそうなときは

そのハンカチで そっと心をくるむ

小さい四角いハンカチ

その布きれ分の青空が

ぼくの心にひろがる

どこからか さわやかな風がふいてくる

ぼくの悩みは

風によって 流れていってしまっ

きみ ありがとう

きみは だいじょうぶ？

転校生のきみに


みんなはやさしくしてくれるだろうか

引っ越していった きみの頭の上にも

青い空はひろがっているだろうか

ぼくは 四角い青空の奥で

きょうも きみの笑顔に出会った



感謝

今、感謝を伝えたい人とその理由	名前（ペンネーム）
<b>野球のキャプテン</b> →野球クラブを一年間ひっぱってくれたから	
<b>友達</b> →いつもいっしょにあそんでくれるから。そうだんをきいてくれるから。	
<b>六年生</b> →最高学年として、みんなを引っばってくれたから。	
<b>みまもりたい</b> →いつもみまもってくれるから。	
<b>岩本さん（校務士）さん</b> →寒い中、窓をきれいにしてくれたり、雪かきをしてしてくれたりしているからです。	
<b>ピアノの先生</b> →今年色々とお世話になって5年生になっても成長した姿をみせたいしこれからもが んばりたいから。	
<b>親</b> →きびしい時もあるけど、ごはんをつくってくれたり、いろいろなことを教えてくれ たりしたから。	
<b>かぞくやちいきの人</b> →いつもけんこうを考えてくれているから。（かぞく） たまにおそうにやたべものをくれるから。（ちいきの人）	

※ここに載っていないものは掲示してあります。

全部で50枚の応募がありました。本校の児童がたくさんの感謝の気持ちをもっていることが分かって、とても嬉しい気持ちになります。私たちの生活は、様々な人の支えで成り立っています。これを機に、私たちがどんな人にお世話になっているかを考え、それをあたり前だと思わず、自分ができることを見つけられるといいですね。これからも、日頃の感謝の気持ちを忘れずに「ありがとう」を伝えていきましょう。

今年度の応募参加型のイベントは2月で終わりました。応募してくれた皆さん、そして、この「はーとふる志賀」を見てくださったご家庭の皆様にとって、心が温まる取組であったと思ってもらえれば幸いです。本当にありがとうございました。